

招待講演 講師紹介

Raymond Vezina (レーモン・ベジナ)

カナダ ケベック大学 モントリオール校 教授

略歴

1940 年生まれ

1971 パリ大学美術史学博士

1968-1975 ケベック市ラバル大学 教授

1975-1984 オタワ カナダ国立史料館 画像部 グラフィックデザインおよび美術課長

1984- ケベック大学モントリオール校 グラフィックデザイン科 デザイン史教授

著書

- ・ R. Vezina ed, "Computerized Inventory Standards for Works of Art". Montreal, Fides, 1981, 287 pages
- ・ R. Vezina, "Graphic Sources for Canadian Studies", Proceedings of the 7th Conference of the Japanese Association for Canadian Studies. Tokyo, Japanese Association for Canadian Studies, pp.151-201, 1982

など

デジタル・アーカイブ —カナダの実験—

レーモン・ベジナ

ケベック大学モントリオール校デザイン科教授

序論

1. 国立博物館法人 1972 - 1990
2. CHIN と Artefacts Canada 1990 - 2000
3. CHIN とバーチャル博物館 2001 -

結論

序論

歴史的アプローチには二つの大きな利点がある。ひとつは歴史的アプローチをとることによって、事実に立脚した記述、分析、総合が可能になることである。もう一つは、我々の行動を、時間的・空間的に距離を置いてみることによって、我々の行動を地域的、全国的、ひいては国際的視点から判断できることである。

このシンポジウムのテーマであるデジタル・アーカイブの発展の様々な側面を判断するために、歴史的アプローチを用いることは甚だ有益であると判断する。私の意図はビジュアル・アーカイブの世界におけるカナダの実験を簡単に描いてみせることである。そこには光のあつた部分ばかりでなく陰の部分も含まれているのであるが、陰の部分が時と共にだんだん小さくなっていくことが望まれる。

カナダは国土が広大であることから、博物館は国ができたときから 1970 年頃まで互いに孤立していた。事実カナダには 1850 年以前には博物館はほとんど存在しなかった。そしてそれから一世紀後もまだ 160 館程度しかなかった。当時カナダの博物館の大部分は、収集品が少ない、購入予算が少ない、保管状態が悪い、普及の手段を欠いているなど、あらゆる面で貧弱な状況にあった。

1. 国立博物館法人 1972 - 1990

こうした状況は 1970 年代初頭、国立博物館法人の設立によって劇的に変化した。この組織は、連邦政府および 10 の州政府から潤沢な補助金を受け、あらゆる手段を駆使して博物館の発展を鼓吹した。その結果 1972 年にはカナダの博物館の数は 830 あまりに膨れ上がった。これは丁度、多くの国が、共産主義をモデルとして、国の活動の主要部門のいくつかに社会主義的管理を適用するようになった時期でもある。

国家は中央組織を設立し、情報化を軌道に乗せ、莫大な人的、財政的資源を投入することにより、カナダの博物館の発展に重要な役割を果たすことを決定した。博物館ネットワークが、国立博物館 4、提携博物館約 25、そして同数の国立展示センターをコンピュータにより結びつ

けた。二種類の移動博物館—大型バスおよび自動車—が、田園地帯をはじめ、鉄道のないところや、船でしかアクセスのできない地方の住民に博物館体験を提供した。

国立博物館法人の業務部門のうち、ここで我々の興味を引くのは、カナダ遺産目録ネットワーク Canadian Heritage Inventory Network (CHIN)である。1972年から1990年頃の間、CHINはカナダの博物館に収蔵品の目録作成を強力に奨励した。当時はテキスト情報のアーカイブであったが、たいいていの場合、段ボール箱に詰められてカナダ中の博物館からCHINに送られていた。CHINは連邦政府から、データベースを入力するため日夜働く人員の雇用資金を獲得した。オンタリオ州キングストンの監獄にもチームがつくれ、囚人は参加博物館から送られてくるカードを入力するという新しい仕事を得た。同時にビデオディスクのような最新のテクノロジーを使った実験も行われた。オンラインネットワークのおかげで、バンクーバーからハリファックスまで、すなわち太平洋岸から大西洋岸のすべての参加博物館が、CHINの中央データベースのメモリーに入力されたすべてのデータを参照できるようになった。カナダではじめて、ある程度の規模の博物館はすべて、アーカイブを共有することができるようになったのである。

1978年、カナダにはイメージ情報及びテキスト情報を持った1,455の博物館その他の機関が存在した。CHINの中央集権度が最大であった1978年ごろ、約150の機関が目録作成を開始し、このこと自体が全国的データバンクを増強した。コンピュータ・ターミナルを介して、十州に散らばった150の博物館の間で資料参照が可能になった。いくつかの博物館は外国の博物館ともリンクした。

2. CHINとArtefacts Canada 1990 - 2000

1989年、ベルリンの壁の崩壊により、共産主義国家の中央集権制度の失敗が明らかになった。世論は中央集権制度を嫌い、むしろ各機関や個人により大きな責任を与える方向に傾いた。ソ連の共産制度の崩壊をはじめとするさまざまな新しい要因に影響され、カナダ政府は博物館の発展の全ての面に関与するといった社会主義的な制度から身を引き、一部の部門、とくにアーカイブの発展に力を集中することになった。その結果ビジュアル・アーカイブすなわちデジタル・アーカイブに重点が置かれることになった。

1990年代のはじめ、ついに国立博物館法人は解体された。CHINはその機能を変更し、まずカナダ中の博物館のためにデータを入力する事をやめ、今後はArtefact Canadaと名付けられた全国的データベースに集中する事になった。このデータベースには何百万ものテキスト情報がすでに入力されていた。CHINは各博物館に、収蔵品をデジタル化し視覚的な目録を作成するよう示唆した。CD-ROMを用いた実験が行われ、1993年には、インターネットが世界的な規模の考察をうながした。これ以来デジタル化され、データバンクに入れられたすべての画像は世界中に普及されることになった。

このように1990年から2000年まで、CHINはデジタル・アーカイブの発展に力を注いできた。そのためにカナダ中の博物館にオンラインの講座を提供し、博物館がCHINに委ねる全データを保管し、インターネットにより国内および国外における普及を保証した。

2000年現在、カナダには視覚的収蔵品を持つ博物館、美術館、資料館などの機関が約2,400館存在している。そのうち約500館が、データをArtefact Canadaに送っている。Artefact Canadaは2,000万レコードのテキスト情報を所蔵している。

The Great Canadian Guide to Museum and Galleries というウェブサイトは、カナダ博物館協会、Artefacts Canada および Culture Net によって供給されるデータを統合し、普及する、強力な情報手段である。カナダ博物館協会は、カナダの 2,400 の機関に関する情報を供給しているが、これは現在インターネット上に掲載された全国的データベースとしては最大のものである。一方 Artefacts Canada は、もう一つの普及手段で、2,000 万のテキスト情報を所蔵している。Culture Net は、市民や訪問者に展覧会、演劇、コンサート、フェスティバルなどの文化的イベントに関する情報を提供している。The Great Canadian Guide to Museum and Galleries の新しいコンフィギュレーションは、驚異的なものであれ、先端的なものであれ、各機関に独自のデータ入力法を用いることを許している。

3. CHIN とバーチャル博物館 2001 -

2001 年 2 月から CHIN は、インターネット上で展覧会を開催する事を目的としたバーチャル博物館という新しい実験を開始する。

Artefact Canada が収蔵品のテキスト情報およびデジタルイメージ情報に限られているのに反し、バーチャル博物館は、資料レベルばかりでなく学術レベルにおける収蔵品の普及を可能にするような、収蔵品の分析および総合を提案している。このようにして学芸員により準備された展覧会は通常の面に加え、新しい性格を帯びている。たとえば、運送費、保険料、額縁、監視人などの費用がかからない；壊れやすい品目を集めて展示することができる；展覧会の期間は無期限である；印刷されたカタログではもちろん不可能であった、文章の改訂や、視覚資料あるいは解釈の追加が可能になる。

CHIN はこの新しい組織が、博物館における収蔵品のデジタル目録作成の推進に強力な刺激になるのではないかと期待している。デジタル・アーカイブは事実、他の機関との対話が発展するための基礎であり、収蔵品の本物あるいはデジタル画像をすべて展示するための基礎である。

結 論

カナダでは 1972 年まで、博物館は収蔵品の目録作成にあまり人的、財政的資源を投入していなかった。この時期以来、カナダ博物館の発展は 2 つの段階に分けて説明できる。

1971 年から約 1990 年まで、社会主義に対する世界的な傾倒の下で、カナダ政府は、博物館の発展のいくつかの面、とくに CHIN によって管理された人的、財政的資源による目録作成に参画するようになった。その後、1990 年代初期、ソ連の共産制度の崩壊に引き続き、カナダ政府は、博物館活動の大部分の面から手を引いた。しかし同政府が CHIN に新しい息吹を与えた結果、CHIN は収蔵品のデジタル目録作成の強力な推進者となった。以後 CHIN によって管理されるテキスト情報および視覚的データベースは Artefact Canada と呼ばれるようになり、The Great Canadian Guide to Museum and Galleries というウェブサイトの発展に力を注ぐことになった。CHIN はそれに加え、2001 年からバーチャル博物館を支持することになった。バーチャル博物館の学術的活動はインターネット上で世界中に普及されるデジタル目録の作成に刺激を与えるであろう。

私は 21 世紀中にカナダの博物館がビジュアル・アーカイブのデジタル化を完成するよう願っている。